

— 阪神大震災におもう —  
**迅速に対処する能力を**  
 湖陵同窓会長 久本 甫



**時代の変化を見極めて**  
 学校長 笹山 平

フランスにデンジャラスと呼ばれるナチュラルチーズがあります。これが大変おいしいんです。その美味なる秘密はカビにあるようですが、このカビで命を落とすことがあるそうです。とてもデンジャラスなのです。

四季の変化に富み、火山と温泉が多く、風光明媚な国日本、しかしそこに住む人々は常に地震に脅かされて生活してきました。そして現実となった阪神大震災。しかもそれは地震を他人事と考えていた神戸市民の家の縁の下で起きました。平成六年発行の同窓会名簿では兵庫には五十五名の同窓がおります。無事を祈るばかりであります。

今回の地震で被害に合われた人々の話に「ぐらつ、ビシャツ」と云う表現があります。直下型の大きな地震ではアツと云う間に家が壊れるのでしょうか。「備えあれば憂いなし」とは云うものの、服を着て、靴をはき、非常用のリュックを背負い、ヘルメットをかぶって寝ていないかぎり助かりそうもないです。多分火を消すひまなんて無かつたんでしょう。神戸にかぎらず釧路でも同じ結果かも知れません。

せん。それにしても行政の評判はすこぶる悪いようでした。迅速な対処が出来ないときたもんだと云うやつです。「前例がないし、「指令がない」だから行動出来ない。困ったもんです。

私見ですが地震に関しては予知に金を掛けるより防災に金を掛けた方が利口と思われま。何故って消防署は火事の発生場所や時間の予知に金を掛けておらんのです。迅速な消火作業のために金を掛けていますから。若し本当に地震の予知が出来るようになったとしたら世の中どうなりましょう。天気予報で「今晚は雨でしょう」と云われると我々は傘を用意して出掛けます。同様に「今夜は震度六、津波を伴います」なんて予報されたらサア大変。死ぬより増しかも知れませんがパニック間違いなしと云ったところ。死刑を宣告された人が、毎日「近々処刑するぞ」と云われている様なものです。処刑どころかノイローゼで死を選んでいるかも知れませんが。達観している人は別でしょうが。美しい国日本はデンジャラスな地殻の上にある。

新しい年を迎え、同窓生の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素、久本同窓会長はじめ同窓会の皆様には多大なるご指導ご支援を賜わり、心から感謝いたしております。

年明け早々、阪神大震災発生時の衝撃が走るなか三学期の始業式が始まりましたが、釧路市民は地震の被害を体験しているせいでしょうか、この未曾有の天災にも湖陵生は素早く対応し、生徒会の呼び掛けに応じて、二十六万円余の義援金を募り、被災者救済に応じたのはさすがでした。

平成二年の秋、緑ヶ岡の新校舎に移って早くも六年目を迎えているわけですが、ここからの春探湖や市街区域の眺望もなかなかのもので、同窓会の折りなど母校を訪れる同窓生の方々は新校舎の屋上に上がるや一様に感嘆の声をあげます。また、湖陵ギャラリーに陳列されている一代目と二代目の旧校舎の模型に釘づけになる様子をよく見かけます。近々、同窓会館

の完成が待たれます。

伝統行事の湖陵祭の出し物である行灯行列は市民にも親しまれてきた行事ですが平成三、四年は交通事情等から止めておりましたが、平成五年から復活し、六年にはコースを一部変更して実施しましたが、どうやらこれが伝統行事として定着しそうです。

ここ数年、教育改革という言葉をとまどき耳にします。学校週五日制の月二回実施は今年からです。新しい教育課程も実施二年目です。ほとんどの生徒が大学進学を志望し、しかもそれらを突破することが容易でない状況がますますはつきりしてきました。この三月の卒業生の中には朝早く登校して早朝補習に参加して成果をあげてきた生徒もいます。世の中の変化は目まぐるしいものがありますが、職員一同釧路湖陵の文武両道の伝統を守るべく頑張っていることを付け加えます。



# 札幌

# 支部だより

## 札幌湖陵会随想

札幌湖陵会幹事長（湖陵12期）

佐々木 康 二（旧姓寅谷）

創中の創設は大正元年です。札幌においてはすでに大正の末期には同窓会組織としての「熊笹会」の発端があったようです。その後幾多の変遷がありました。現在の組織の成立は旧釧路中学、釧路高等学校同窓会札幌支部が昭和六二年二月に発展的に成長して札幌湖陵会となりました。

現在の札幌湖陵会としての初代会長は西条正人様（釧中二六期、元北海道銀行役員、幹事長は石井忠雅様（釧中三二期、元北海道新聞社）であります。初代会長、幹事長は大変な努力をされて札幌湖陵会を創立されました。

平成三年の総会で現在の栗林正明会長（湖陵一三期、三ツ輪航空サービス）と佐々木康二のコンビになっております。

西条会長、石井幹事長は札幌湖陵会の顔そのものなのですが、石が定まれば、若返りを断行するとの西条会長の決意が固く、固辞する栗林正明さんを再三再四の説得で説き伏せて、西条会長の意向するところの若返りは実現いたしました。

しかし、その後、西条会長が若返りによって期待した一層の札幌湖陵会の興隆についてはどうもパツトしない状態、あると思います。

その事務局を担当する私としては申し訳ない気持ちがいえます。後を受けた栗林現会長の真意は若輩が総会準備等の労を取って諸先輩同窓会員に御座敷を準備したい気持ちであったと思います。

最初は五〇〇名を越えた総会参加者も最近では三〇〇人が切れるようになっております。

札幌湖陵会の目的としては総会に参加する同窓との交流は当然のことですが、札幌湖陵会が運営されていることにより同期の結果が容易になれば良い」という方針も含まれております。同期会の中心メンバーの談によれば、総会に参加しなくとも同期会は盛んであるとの多くの声がありますので多少はお役に立っているようです。

同窓会が何の役に立つのかと問われれば答えに窮するのですが、少年から青年への過渡期に同じ街で同じ空気を吸って同じ授業を受けた者同士の語らいには理屈を越えた喜びがあります。また諸先輩の経験談を伺う機会が増えるのも楽しみです。与えられた使命を成就して、または現在も努力している先輩に身近に接することは自分自身の生き方を考えるための最良の教科書です。

先年亡くなりました青木商事（キャブレリアンペラー）の故青



〈札幌湖陵会定期総会〉



太陽のように  
明るく暖かい真心で  
良い品をより安く  
ご奉仕する

セオチェーン

- 妹尾商店 新橋大通1丁目 ☎25-5345
- 新富士ストア 新富士駅前 ☎51-3467
- 愛国ストア 愛国西3丁目 ☎36-3399
- 白樺ストア 白樺台1丁目 ☎91-5423
- 昭園ストア 昭北1丁目 ☎51-8853

さつぽろ地下街オーロラタウン  
ギフトデパイク

ペルソナ

オーロラプラザ前 ☎(011)241-3830

●味が自慢の本格派レストラン●  
ステーキハウス アポロン

新橋大通1丁目妹尾商店向 ☎25-7023  
営業時間 / AM11:00~PM9:00



木警会長に何回かお目にかかって  
お話をうかがったり、また青木警  
会長の同郷弟子屈の先輩に「青木  
さんは自転車屋さんの奉公を振出  
しにして、二五歳近くになつて釧  
中に自分の子供をおぶつて通学し  
た」ことなどを聞きますと我こと  
のように感激してしまいます。書  
物で偉人伝を読むのと違って、面  
談ができる先輩の実人生に接しま  
すと自分の中に新しい勇気が湧い  
て参ります。

私は全日制湖陵高校には二年生  
まで在学し、二年生の途中から昼  
間は三ツ輪商会に就職し、夜間は  
湖陵定時制に通つて昭和三七年に  
卒業いたしました。定時制卒業後  
は名古屋の学校に進学してから四  
〇歳までの二〇年間を過ごし、一  
〇年程前に札幌に戻りました。

今までの自分の渡世の中でいつ  
もピンチ（今、考えたいといつ  
ピンチでもない）になりますと、  
安業の道よりは自分にとつては多  
少けわしい路を選択したように思  
います。これは友人、中学、湖陵  
高校、三ツ輪商会などの幾多の先  
輩のご教育のお陰であつたとつく  
づくと思う次第です。

オギャーとこの世に生を享けた  
時に、貯金通帳と印鑑をもって生  
まれた訳ではありません。生まれ  
てから今までの人生は全て「人の  
手」によって与えられ今日があり

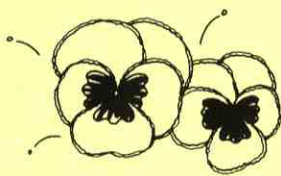
ます。「金銭」「地位」「財産」「名誉」  
などは人間の生産創造活動の副産  
物であると思います。「人」が先  
あり、その他のものは後にありま  
す。人との交流を通じて為される  
人間形成が天意と思つております。  
釧中湖陵と続く同窓会活動は簡  
単に「人」に巡り合えて簡単に意  
思の疎通ができる豊かな田畑です。  
今後とも湖陵同窓会が繁栄し我々  
を育ててくれる人間ネットワーク  
の場が豊かになりますように祈念  
しております。

〒〇六〇 札幌市中央区南一条東

五丁目一番地

行政書士 佐々木 康 二

電話 011-221-3868



釧路湖陵27会卒業40周年記念誌  
「北陸」より

## 「心は青春二七会」

小滝 明子（湖陵4期）

「久しぶりの息子の電話に孫の声」  
いつの間にか私達も60才近くに  
なつてしまいました。あつと云う  
間でした。でもいつも心は青春  
です。見田様のお手紙のように「体  
に気をつけて、健康に気をつけて  
再会を楽しみにまつています」に  
は本当に感激しました。そして心  
を打たれました。まさにその通り  
です。又佐藤郁男様の手紙のよう  
に「このような大会は最後かもし  
れません。少しでも多くの人の参  
加を！」と呼びかけていらつしや  
います。私達の27会はなんてすば  
らしいのでしょうか。東京・札幌  
・釧路と心は一つです。

毎日の生活の中で友情・仲間・  
眞心……そのような友達を持つて  
いる事が人生の自信につながつて  
とてもいい顔をした生き方が出来  
る自分を幸せだと思つています。  
東京の27会、二月七日の太田重吉様  
の御協力で湯ヶ原一泊旅行、男性  
10名、女性11名、たのしかったで  
す。本当に幸せです。だれ云うと  
なく殆んどの人が同じ時刻の同じ  
電車、車中男性の皆様のおたたか  
さ、ビール、お菓子（特に高級な  
お菓子）の差し入れ、ほんとうに  
ほんとうに楽しかったです。釧路  
の大会が今から楽しみです。こん  
な会が日本中二つとあるでしやう  
か。釧路の人達は心が豊かでやさ  
しいですね。東京に住んでいる  
人も札幌の人も。  
東京27会も勿論、たのしいです  
し仲がいいですが女性も又マドン  
ナの会を作り、世界情勢、人生の  
生き方、嫁姑のあり方、子と親の  
あり方、おしゃれ、歴史等々……  
たのしい食事をしながら、ボケな  
いための情報交換、ストレス解消  
いつまでも若々しく美しくあるた  
めに心がけています。とにかく一  
生皆様、仲よくしましょうね。そ  
していい人生を送りましょうね。  
釧路の皆様ごくろう様です。

ありがとうございます。再会を  
たのしみしています。

（平成4年10月発行）

釧路のおみやげに！

しあわせをお菓子にのせて



蝦夷手焼  
せんべい

熊ささ



釧路市南大通2 ☎代41-2121

# 活躍する同窓生

湖陵17期

## 及川 美智子



して活躍するなど、今、地元で最も活躍する女性の一人として注目されている及川美智子さんを尋ねました。

「16年間東京で仕事をした後、釧路に戻って、そのとき初めて故郷の自然の素晴らしさや特殊性を実感しました。本当にそれまで気付かなかったんです。遠く離れて暮らしてみても戻ってみると、当たり前のようにそこにあるものがあることができない大切なものだったんですね。では皆は知っているかと言うとそうでもない、これは何とかしてこの町の良さを自覚してもらって、子供達や、女性や、皆が、住んでいることを自慢できるような良い町にしたいとは考えるようになりました。」

「まちの将来を考えるときは、できるだけ鳥瞰的に見るようにしてみます。日本列島を人間の身体に例えれば、九州で日本の歴史・文化の歩みが始まり、大阪は経済活性化し吸収している胃袋のようであり、東京はあらゆる循環機能を持つ心臓で、東北は緑いっぱいの肺となるのではないのでしょうか。となりますと、北海道は頭となり、その中で札幌は中央集権的伝達メッセージを持つ左脳的作用を持ち、さて、釧路はと言いますと左脳（札幌）のバランスやお

腹（大阪）・心臓（東京）の様子を見定めつつ、感覚的、創造的に物事を考えることができるクリエイティブな右脳の役割を担うまちといえるのではないかと思えるのです。とにかく、このように日本の中の釧路、世界における位置付けと言うように、物事は全てグローバルに考えることから始めることが肝心であると思います。」

「釧路は、芸術性、神秘性など人づくりのための要素を持った素晴らしいまちです。そうした感性は、広大な湿原や水にまつわるものではないでしょうか。郷土の自然資源を愛し、大切にしていきたいものです。こうした郷土愛を育みながら、ものを創造するばねを市民全体で考えるときが来ているのです。」

「子供たちの視点を取り入れた夢のあるまちづくりはどうでしょう。例えばひとつの提案として、私は釧路のまちを全部遊園地のようにはしてみたいのです。釧路市にはフィッシャーマンズワフがありますが、もちろんこのままではまだ少し物足りないと思います。豪華客船を釧路港に入港できるようにして、観光客をいっぱい乗せたトロツコが海上美術館、海上水族館を横目に川筋を走る。途中の駅からは湿原ゴンドラに乗り換えて市内の各観光スポットを循環す

ることができるといい。BGMのように聞こえてくるのは駅前から幣舞橋まで続く数々のオルゴールが奏でる音のオブジェ、夜はレーザー光線でライトアップされた夜景を楽しむ。国際交流も盛んに行われ、特に北方圏とは距離的にも有利です。市民は気軽にロシア料理店を訪れ、年配の人たちも語学スクールに通い出し、町のあちこちでは子供達の日本語と外国語の入り交じった笑い声が聞こえてくるといった具合で……何かウキウキして来ませんか？」

「いつまでも楽しいお話が続く及川さんでした。もちろんご専門のファッションについても一言。「女性に比べて、男性はもう少しファッションを勉強してほしいですね。画一的なスーツだけではなく、エレガントでより個性的な装いをしていたらいいと思います。」

同窓会の男性諸氏は、機会をみて及川さんのファッションアドバイザーを受けてみてはいかがでしょうかという。

「おじいちゃんが初めてここに来たときは、道も無かったし、夜になるとこんな大きな熊が……なんて、未開の北海道を切り拓き、町を築いてきた祖父の夢と苦労をお話のように聞きながら育ちました。」と素敵な笑顔でお話をされる現代の開拓史が今回ご紹介する活躍する同窓生です。

ファッションデザイナーとして、また、経済界を代表する女性として釧路のまちづくり地域づくりを提言する国際会議のパネリストと

紹介する同窓生を募集しています。自薦他薦は問いません。母校の誇りである活躍する同窓生の情報を最寄りのくまざき編集委員にお寄せください。

## 幸三 ゴルフショップ

新橋大通 5 - 1

代表 宮本 英司

——先輩、後輩よろしく頼みます。湖陵17期——



奥田 達也(真高)卿の

# 誠愛勇から

## 佐久間令次の巻

(釧中15期)



久方振りに出席した「文学まつり」で会う常連の佐久間令次は八十歳なお現役の柳人である。

宴会前の記念撮影にも相変らず小マメに愛用のカメラで撮りに走り出た。慌てるので、会議の話題佐藤公則、荒澤勝太郎二人の追悼号から、つい、

「追悼号はもういいよ」と私。

撮影前の緊張を柔げようと冗談を云ったのだが、爆笑を聞き乍ら(しまった、きつい冗談を云った)と思つた。

よく会合へ引出して貰う大先輩

への親しみからだが、甘過ぎだった。それ程に「釧中物語」十五回生の取材にお会いしてから私はお世話になってきたのである。

その後の取材でも一番お世話になつたろう。毎日写真三葉の連載資料も相当に協力を受けた。

三ツ輪運輸勤めの多忙の中に、である。職務に忠実なだけ上司にも気を遣い乍ら。

「あなたの所長さんに悪いんじゃないの？」と私の勤め乍らの取材を心配してくれたのは、ご自分のこともあるからだつたろう。

## 友に、人に世話をやく

### 釧中の在籍一年余に遠慮

思いやり、いたわりを絶えず持ちつつ世話をやくのである。

釧中生としてはたつた一年余の在籍である。網中から四年生の二学期に転校していた。期間が短い。でも「誠愛勇」の校訓にふさわしい人である。

網中生が「一九二九年五月十五日。その日私等四百の生徒には忘れることの出来ぬ訣別の情に泣いた悲しみの日でありました。その日限り渡辺校長を思い出の先生として私達は遠い釧路へお送りしな

ければなりませんでした」と同校会誌三号に書いている釧中四代目校長渡辺繁吉の釧中赴任であり、その長男洋一とは同級生同士が偶会・旧交交友するのでもあった。

渡辺校長の薫陶を長く受けたことでは当然のことかもしれない。

五年生の昭和六年六月五日に層雲閣で網中同級生らとも会つている。平成二年九月二十三日午後に私は「湖陵校舎お別れ会」へ出た。

グランド入口の席、一番に座つて「よう」と佐久間、古谷武一、中江孝司が声をかけてくれる。

ンドの伴奏に負けじと青春の雄叫びをあげて校歌をうたう。泣き乍ら歌い、カメラも撮る佐久間。その写真を出席できなかった同期生に送り、自分の感激だけでなく人へも分け与えるのだ。

他人の世話をしして報われるどころか腹の立つことが多い。それを承知の上で世話をやいてしまう。

「和を尊し」とする十五回生ながら各会合に人々を誘い、若い人をたて、肩書きにこだわらず、人の面倒をみる。

大きく重い「八十周年記念誌・湖陵」十数冊を買い求め、発送するのにも、頼まれぬのに、己れにかした仕事。そうせずにはおられない性格、人柄なのだ。

厚岸に沈んだ日蓮丸にかかわつたり、戦時中は船の入出港と暗号取り扱いを担当したため、憲兵に常時尾行された。日記を、資料を大切にする佐久間。芯にしつかりしたものがあつた。垣間みせる吞兵衛の集いでガツチリ頑張る土性骨は、その片鱗であろう。

二十年七月の空襲にあい、その日記は「釧路空襲」第一巻にも収録されている。戦災状況が生々しく戦災史の一級資料といわれた。

いま克明に古い資料を駆使して、釧路の記録を「自分史」として書きすすめている。

自分史に戦前戦後を綴り込み(礼二)

御婚礼・御宴会・御会合・御宿泊

政府登録国際観光ホテル・日本ホテル協会会員

# 釧路パシフィックホテル

中村 隆(釧中27期)

釧路市栄町2丁目6番地 ☎24-8811

れんが屋★AM11:00～PM11:00

トロイカ★AM 8:00～PM11:00

パシフィックイン・八まき・八宝園





能地佐有子

真新しい制服に身を包み、期待と不安を胸に、この学校に入学してから早くも三年が経とうとしています。あつという間の三年間でしたが、その中で本当に貴重な経験をさせて頂きました。三年生の夏に富山インターハイに出場できたことです。

入学当時、湖陵高校の生徒は真面目で、勉強ばかりしているのだろうと考えていた私は、部活と勉強との大変さと思い、陸上競技部への入部を迷っていました。しかし、先輩方が勉強以外にも、部活動や生徒会活動に熱心に取り組んでいらつしやるのを見て、三年間勉強に追われるだけで過ごすのではないのだと分かり、有意義で楽しい学校生活を思い、湖陵高校に入学して本当に良かったと思つたものです。

入部後、私は更に、自分達の力で練習メニューを作成し、それを熱心にごなす先輩方の姿を目にししました。かつて、指導の先生がいらつしやつた頃からの伝統を守りながら、自分達の手を加えて私達に新しい練習を入つたばかりの私達にも分かりやすく親切に教えて下さいました。そんな努力も報われることなく、「全国大会出場」という皆の目標

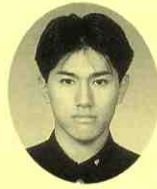
は実現されずにいました。そんな部の夢を、今年私達の代で五人もの選手によって実現できたことを本当に嬉しく思います。

高校生活三年間の中では、他にもたくさんの思い出は残りましたが、特に、陸上競技部に入部し、たくさんの先輩方や仲間、後輩達と努力し、協力し合い、励まし合つたことは、高校時代に自分達の力で勝ち取つた大切な経験として一生心に残る

だろうと思います。この貴重な経験を胸に、この学校を巣立つてからも頑張っていました。最後になりましたが、このような貴重な経験をさせて頂きましたのは、諸先生方の御理解、御協力があつたからだと思います。湖陵高校の益々の発展を期待し、また、後輩の皆さんが、湖陵高校の歴史ある伝統を受け継ぎ、頑張つて下さることを願っています。

# 学窓を巣立つ

湖陵47期



白川 雅義

たい気の合う友達ができました。これは、どんなにお金持ちになるよりも、地位や名声を手に入れるよりもグレイトですばらしい、そしてうれしい事だと思います。

学校生活の中でも部活動では特に学んだ事が多かつたです。顧問の先生がめっちゃめっちゃ厳しかったので、挨拶や時間厳守などの生活態度が徹底されました。忍耐力など、苦しい事に打ち克つ精神力も備えることができ、また、人と助け合うことも身につけました。部活をやつて、いろいろな事で成長し、良い友達もでき、ホントに良かったと思います。「あゝあ、これに全道優勝なんか加われ最高だったのになあ」。文武両道がモットーの校風、この伝統をこれ

からも失わないよう、先生達と後輩には頑張つて欲しいです。

高校卒業後、皆は学生か社会人として日本各地へ散つていくわけですが、常に向上心を持ち続けるべきだと思います。高校を卒業するところまで表立ってできなかった事も堂々とできるようになります。でも、これから一人て生活を始めた時、社会人として社会に出る人は、自分の考えを強く持ち、責任のある行動をしなければならぬと思います。自分には、見知らぬ土地に一人暮らしをするという道を自分の意志で選択しました。自分で決めたからには、生活も勉強もしつかりやらなきゃならない。遊びも少々やるけど、これから立派な大人になるために、自分を鍛えるチャンスだと思っています。なにも知らない世の中で、生きていく不安ですが、高校で身につけた精神力とめりはりのある生活をすること、もう一周り大きな人間になりたいと思っています。こんな偉そうなこと言つてるけど、自分が友達だと思つても相手が自分のこと友達だと思つてなかつたり、成長したと自分では思つても、実はクソの役にも立たない奴かもしれない。でも自分にとつて、高校生活は本当に有意義なものでした。とつても知的で理解のあつた先生方、この世に並ぶ者のない程の美男・美女の皆さん本当にどうもありがとうございました。それぞれの道で精一杯頑張つて、それぞれの道を極めよう。



知性と工夫で勝負する情報集団

**釧路総合印刷株式会社**

〒085 釧路市白金町19の2 TEL 0154-23-9201 FAX 0154-23-9205



# 「学園だより'94」母校の活動

文責 湖陵14期 笹野 晟士

同窓生の皆様にご挨拶申し上げます。「くまざき31号」の発刊に当たり母校の一年間をふり返って概略をお話しします。

〔四月〕新年度スタート(8日、

始業式・新任式)小野寺広毅頭

(前任校、蘭越高校)を含め、新

教職員九名 入学式(8日、新入

生416名) 宿泊研修(14日、16

日、川湯御園ホテル宿泊)その他

PTA・後援会役員会及び総会、

体位測定など各種健康診断、保健

指導、就職ガイダンス、進路調査

図書館ガイダンス、必修クラブ登

録等々校内多忙。

〔五月〕市内高校体育大会(12

日)、第一回防災避難訓練(20日)

柔道地区大会当番校(25日、27日)

教育実習(30日、6月10日)他に進

路講演会、就職希望者父母説明会、

壮行会等々。

〔六月〕山岳地区大会当番校業務

(2日、4日)市民運動会当番校

業務、柔道全道大会当番校業務

(22日、24日)多くの部が輝しい

成績を挙げた。他に模試、校内補

習、下宿先訪問、壮行会等。

〔七月〕教員採用試験会場校(3

日)、体育大会(13日)夏期進学

講習会(24日、8月4日)、三年生

対象)夏期校内補習(24日、30

日)、その他就職希望者面接指導、

進路講演会等。

〔八月〕教員採用試験会場、始業

式(18日)第44回湖陵文化祭(26

日、29日)その他就職希望者校内

選考等。

〔九月〕高文連新聞地区大会当番

校業務及び公務員模試、芸術鑑賞

(5日)高文連演劇支部大会当番

校業務(21日、23日)、山岳地区

大会当番校業務(24日、25日)、

道職員初級採用試験(25日)、見

学旅行説明会(30日)

〔十月〕見学旅行一班出発(22

日)、二班出発(23日)その他各

種模試、職員健康診断、列車添乗

指導、センターテスト出願等。

〔十一月〕保健講座(11日)その

他各種模試、読書感想文コンク

ール表彰、生徒会立合演説会等。

〔十二月〕三年生特別授業午前授

業、冬季休業(25日、1月18日)

その他各種模試、校内補習授業等。

〔一月〕センターテスト(15、16

日)320名) 始業式(19日)、そ

の他三年生特別午前授業、その他

校内補習。

〔二月〕三年生家庭学習(1日

、) 防災避難訓練(21日) 高校推

薦入学面接試験等。

〔三月〕第47回卒業式(1日)

以上概略として報告します。市

民運動会当番校業務と英検が重なる

等例年にはない多忙さもありま

した。

次に本年度の全道全国大会出場

の結果を挙げておきます。

〔ハンドボール部〕

◎全国高校ハンドボール選手権大

会(インターハイ) 1対8%富山県

女子一回戦 湖陵3-23水見

〔放送部〕

◎第41回NHK全国放送コンテス

ト 2対2% 東京 アナウンス部

門 3年4組 田中和弘 準決勝

敗退

〔弓道部〕

◎第16回北海道高等学校弓道選抜

大会北海道大会 1対1% 滝川市

(男子) 予選3位で決勝リーグへ

決勝リーグ3位 (女子) 予選敗

退

〔テニス部〕

◎第16回北海道高等学校秋季テニ

ス大会 1対1% 江別市 団体

(男子) 一回戦 湖陵3-0 深川

西一回戦 湖陵0-3 札幌藻岩  
(女子) 一回戦 湖陵4-0 北見  
北斗 二回戦 湖陵0-3 札幌清  
田

予選7位 一五〇〇M 長尾朋章  
予選10位 やり投 高松伸悟 決  
勝4位 (女子) 一〇〇M 能地  
佐有子 決勝4位 二〇〇M 佐  
藤真妃 予選4位 四〇〇M 大  
澤香織 決勝6位

〔ソフトテニス部〕

◎第24回北海道高校新人戦ソフト  
テニス大会 1対1% 札幌市男子  
ダブルス 鈴木・関本組 一回戦  
敗退 女子ダブルス 古村・池之  
谷組 一回戦敗退 男子シングルス  
下山恵一 一回戦敗退 田中友博  
二回戦敗退

予選7位 一〇〇M 吉口大介 決  
勝6位 二〇〇M 神田貴史 準  
決勝5位 二〇〇M 野村峰也  
決勝3位 四〇〇M 野村峰也  
準決勝3位 八〇〇M 長尾朋章  
準決勝3位 一五〇〇M 長尾朋  
章 予選5位 一〇〇MH 寺澤  
伸俊 決勝6位 一〇〇MH 松  
尾勉 予選7位 四〇〇MR 吉  
口・野村・小川・神田 決勝5位  
走幅跳 松本将輝 予選5M 66  
三段跳 松本将輝 予選11M 38  
円盤投 高松伸悟 決勝10位 や  
り投 高松伸悟 決勝3位 (女  
子) 二〇〇M 佐藤真妃 準決勝  
5位 二〇〇M 大澤香織 準決  
勝3位 四〇〇M 大澤香織 決  
勝8位 四〇〇MR 堀・佐藤・  
古谷・大澤 予選5位 走高跳  
広島ゆか 記録なし

◎全日本ジュニア体重別柔道選手  
権北海道予選大会 1対1% 札幌市  
78kg以下級 下谷紀雅 一回戦敗  
退 86kg以下級 宮本英彦 二回  
戦敗退 95kg以下級 菅原和裕  
二回戦敗退

〔サッカー部〕

◎第73回全道高等学校サッカー選  
手権大会北海道予選 1対1% 札幌  
市 一回戦 湖陵3-1 札幌篠路  
二回戦 湖陵0-3 室蘭大谷

予選7位 一〇〇MH 寺澤伸俊  
予選5位 四〇〇MH 野村峰也

〔陸上競技部〕

◎第47回全国高校陸上競技対抗選  
手権大会 1対1% 富山市 (女  
子) 一〇〇M 能地佐有子 予選  
7位 八〇〇M 村上麻里子 予  
選8位 四〇〇MR 大澤・青  
木・佐藤・能地・予選8位

予選7位 一〇〇MH 寺澤伸俊  
予選5位 四〇〇MH 野村峰也

◎第49回国民体育大会予選  
1対1% 札幌市  
(男子) 一〇〇M 吉口大介 予  
選7位 一〇〇MH 寺澤伸俊  
予選5位 四〇〇MH 野村峰也

予選7位 一五〇〇M 長尾朋章  
予選10位 やり投 高松伸悟 決  
勝4位 (女子) 一〇〇M 能地  
佐有子 決勝4位 二〇〇M 佐  
藤真妃 予選4位 四〇〇M 大  
澤香織 決勝6位

◎第28回高文連美術展全道大会  
優秀賞 芳井希・亀岡朗子 入選  
塩川晶子・佐渡美奈子・西村郁美  
・木下弘子・松澤操・大木愛

予選7位 一〇〇MH 寺澤伸俊  
予選5位 四〇〇MH 野村峰也

◎第36回学生美術全道展  
奨励賞 近藤亜衣美 入選 木下  
弘子・亀岡朗子・西村郁美・米川

予選7位 一五〇〇M 長尾朋章  
予選10位 やり投 高松伸悟 決  
勝4位 (女子) 一〇〇M 能地  
佐有子 決勝4位 二〇〇M 佐  
藤真妃 予選4位 四〇〇M 大  
澤香織 決勝6位

予選7位 一五〇〇M 長尾朋章  
予選10位 やり投 高松伸悟 決  
勝4位 (女子) 一〇〇M 能地  
佐有子 決勝4位 二〇〇M 佐  
藤真妃 予選4位 四〇〇M 大  
澤香織 決勝6位





真希・新井田美穂子・佐渡美奈子  
・東奈緒美

〔合唱部〕

◎NHK合唱コンクール全道大会  
9% 札幌市 銀賞

◎全日本合唱コンクール全道大会  
9% 室蘭市 銅賞

◎高文連全道大会 9%  
室蘭市 優秀賞

〔書道部〕

◎第28回全道高校書道展  
9% 函館市 奨励賞 3年

〔図書局〕

◎第16回全道高等学校図書研究大会 9%  
北見市 館報コンクール 入選せず

〔写真部〕

◎第18回全道写真展・研究大会 9%  
岩見沢市 塩田奈緒美

〔アマチュア無線部〕

◎第33回全道高等学校理科研究大会 9%  
室蘭市 「ミツバチの偏光感知能力についての考察」奨励賞

〔生物部〕

◎第33回全道高等学校理科研究発表大会 9%  
室蘭市 「春採湖岸の人工池におけるトンボの繁殖」奨励賞

# 事務局だより

同窓会々員の皆様におかれましてはご健勝にて毎日をお過しの事とご拝察申し上げます。

また常日頃から同窓会に対するご支援、ご協力を賜わり衷心より厚くお礼申し上げます。

さて、一昨年は釧路沖、昨年は東方沖と二度に亘り大きな地震におびやかされた釧路市であります

が、此の度の阪神大震災は到底比べものにならない非常に大きなものであり、被災地の皆様に心からお見舞いを申し上げます。

また被災地には同窓生五十名以上が居住されているものと推察されるところであり、なんとご無事であつてほしいと願うものであります。

これだけ近代化されたこの日本の国でも自然の力の前には瞬時の間に構築物は破壊され多くの死者を出すなどたゞ呆然と立ち尽くすよりすべがないというのが実態であります。

素晴らしい自然の美しさの奥にこのように恐ろしい反面もかくされているということをいまさらのごとく思いしらされたこともまた事実でございます。

被災地の復興を切に願うものであります。昨年八月に開催された平成六年

度釧中・釧路湖陵同窓会総会も盛大に開催され無事終了することが出来ました。お世話を下された湖陵十二期・二十三期・三十二期の当番幹事の皆様大変ご苦勞様でした。

この紙面をお借りし改めてお礼を申し上げます。また総会の席上で同窓会館建設の件につきまして大まかに経過を説明させて頂きましたが現在建設に向けて進行中でございます。

春には釧路地方教育局に第一回目の申請が出されその後道教委を経て正式に許可されることになると思われますが時期につきましては申請書査にある程度の時間がかかりますのでいつごろとは断定出来ませんが許可がおり次第建設に向けて具体的に取組むことになり

ます。その節にはいろいろな面でご支援ご協力を賜わなければなりません。どうかよろしくお願い申し上げます。

そろそろ各支部の同窓会が開催される時期でもありますので、一人でも多くの方々の力をお借りし、是非初期の目標を達成させなければなりませんのでくれぐれもよろしくお願ひ申し上げます。

最後にになりましたが同窓会会員皆様のご健勝と今後のご活躍をご祈念申し上げ、事務局からの便りとさせていただきます。(関口記)

## 編集後記

早いもので本誌の創刊からたずさわつてすでに十六年ともなりました。「青春譜・湖陵ヶ丘」の連載をたゞたどしく書きつらねて、いつとはなく六十四歳。

一昨年から編集委員に参加させて頂き各会合で若い後輩らと話し合える楽しさもふえました。

先輩から取材した「釧中物語」の先輩格となり勝手な放言をし乍ら若い人たちから吸収する喜びを与えられ嬉しい限りです。

元気なあいだ先輩を「誠愛勇から」書きつづけてみたい。

時々「湖陵物語」を先輩に書いて、と頼んでいる夢をみます。

釧中が34期に対して湖陵はすでに47期を考えてみますと当然に、もうその必要性が出てくるので、40歳代までなら二足草鞋で取材するのも可能だし、大変に楽しく勉強になることは請負います。

どの組織でも若い人が活躍すべきです。年輩者はそれを引き上げてやるべきです。後輩各位の積極的なご参加を望みます。

(奥田記)

阪神大震災から、あつという間に一カ月が経過しました。亡くなられた五千四百余名の方々のご冥福を心よりお祈りします。そして怪我をされた方々に、心より御見舞い申し上げます。

釧路沖地震・南西沖地震・三陸はるか沖地震・そして阪神大震災と巨大地震が発生し、いずれもが死者が発生し、被害も未曾有のものであり、ただ啞然とするのみであります。

寺田寅彦氏は「災害は忘れた頃にやってくる」との言葉を残しましたが、また、鰯と地震の関係についての論文を発表していたそうです。

釧路沖の鰯漁がふるわないのは、地震と察知したイワシがいち早く逃げたのかもしれない。地震予知、避難体制など防災対策の進展はまだまだ、時間がかかりそうですが、地球の恐ろしさを考えるとき、黙って、手をこまねいくわけにはいかなさと思う今日このごろです。(平野記)

### くまざき編集委員会

- 同窓会会長 久本 甫
- 同窓会幹事長 関口 政司
- 編集委員長 上岡 信明
- 編集委員 奥田 達也
- 平野 清次郎
- 石川 和男